

多重通信 (デジタル情報の伝送に特有のもの
H04L5/00;2 以上のテレビジョン信号の同時伝
送または順次伝送のための方式 H04N7/08;交換
におけるもの H04Q11/00)

注

このサブクラスは以下のものを包含する:

—同一伝送路上に複数の信号を同時的または順次的に伝送
する目的でそれらの信号を結合または分離するための回路ま
たは装置;

—そのための監視装置

- 1/00 周波数分割多重化方式 (H04J14/02 が優先)
[5]
- 1/02 ・細部
- 1/04 ・・周波数変換配置
- 100 ・・・周波数転換に利用されるフィルター
- 1/05 ・・・デジタル技術を用いるもの [3]
- 1/06 ・・搬送波供給配置
- 100 ・・・受信端局における搬送波源と送信端
局における搬送波源の同期
- 1/08 ・・チャンネル結合配置
- 100 ・・・終端局;変復調結合回路
- 1/10 ・・中間局配置, 例. 分岐用, 傍受用
- 1/12 ・・チャンネル間漏話低減配置
- 1/14 ・・呼出信号または監視信号に備えるため
の配置
- 1/16 ・・監視配置
- 1/18 ・全搬送波が振幅変調されているもの
(H04J1/02 が優先) [3]
- 1/20 ・少くとも一搬送波が角度変調されている
もの (H04J1/02 が優先) [3]
- 3/00 時分割多重化方式 (H04J14/08 が優先) [4, 5]
- A 多重化・多重分離化方式
- B ・フレーム構成に特徴のあるもの
- C ・信号の形式に特徴のあるもの
- D ・・PAM 信号
- E ・・PPM 信号
- F ・・PWM 信号
- G ・・多値信号
- H TDMA [衛星通信を除く]
- J ・AGC
- K ・多方向多重
- L FDM より TDM への変換
- M 映像信号の多重
- N TV 信号帰線期間中の信号多重 [文献分類]
- P 商用電源波形を利用するもの
- Q 光を利用するもの [多重に特徴のないもの
は, H04B9/00]
- R 現用・予備 [多重通信系の現用・予備切
換, H04L1/22 も分類]
- S 時間圧縮多重
- T 交換関連のもの [文献分類]
- U 新同期デジタルハイアラキー (SDH, SONET)

- V ・オーバーヘッド
- W ・・ポインタ
- X クロスコネクタ
- Y ISDN (多重処理に関するもの)
- Z その他のもの
- 3/02 ・細部
- 3/04 ・・変調器または復調器と結合された分配
器
- A 復調器と結合された分配器
- Z その他のもの [多重化回路]
- 3/06 ・・同期配置
- A フレーム同期 [H04L7/08 にも分類]
- B ・フレーム同期保護
- C 多重変換
- D 位相同期
- Z その他のもの
- 3/07 ・・・異なるまたは変動する情報速度をも
つ系のためにスタッフパルスを用いるも
の [3]
- 3/08 ・・中間局配置, 例. 分岐用, 傍受用
- A 中継
- B 分岐・挿入
- Z その他のもの
- 3/10 ・・チャンネル間漏話低減配置
- 3/12 ・・呼出信号または監視信号に備えるため
の配置
- 3/14 ・・監視配置
- A 監視信号によるもの
- Z その他のもの
- 3/16 ・一伝送サイクル内の個々のチャンネルに
対する時間割り当てが可変であるもの,
例. 複数の信号の組合せが次々によって
ゆくの調整するもの, 伝送チャンネル
の 数 を 変 化 さ せ る も の
(H04J3/17, H04J3/24 が優先) [4]
- A 優先伝送
- Z その他のもの
- 3/17 ・第 1 番目の使用者が休止したとき, その使
用者に割り当てられていた伝送チャン
ネルを解放して第 2 番目の使用者に割り
当てるもの, 例. TASI [2006. 01]
- A 音声休止チャンネルにデータを割り当てる
もの
- Z その他のもの
- 3/18 ・個々の信号の周波数圧縮およびその後
に続く周波数伸張を用いるもの
- 3/20 ・レゾナントトランスファーを用いるもの
[2]
- 3/22 ・複数の送信源が異なる速度または符号を
もつもの [4]
- 3/24 ・割り当てがアドレスによって指示される
もの (H04J3/17 が優先) [4]
- 3/26 ・・情報およびアドレスが同時に伝送され

H 0 4 J

- るもの[4]
- 4/00 時分割多重化方式と周波数分割多重化方式との組み合わせ（H04J13/00 が優先）[2]
- 100 ・トランス多重化処理
- 7/00 個々のチャネルの信号の振幅または持続時間がそれらのチャネルに特有であるような多重化方式
- 7/02 ・振幅の極性が特有であるようなもの
- 9/00 各チャネルが相異なる搬送波変調形式によって表わされる多重化方式
- 11/00 直交多重化方式（H04J13/00 が優先）[2]
- A 位相直交多重化方式
- B 偏波直交多重化方式
- Z その他のもの
- 13/00 符号分割多重化方式（周波数ホッピングのためのもの H04B1/713）[2, 2011. 01]

注

このグループに分類する場合、周波数ホッピングに特化しないスペクトラム拡散技術の観点で、検索に重要と思われるものは、グループ H04B1/69 にも分類してよい。[2011. 01]

- 13/10 ・符号の生成[2011. 01]
- 13/12 ・・直交符号の生成[2011. 01]
- 13/14 ・・ZCZ 符号の生成[2011. 01]
- 13/16 ・符号割当て[2011. 01]
- 13/18 ・・直交符号の割当て[2011. 01]
- 13/20 ・・・直交可変拡散率[OVSF]符号の割当て[2011. 01]
- 13/22 ・・零相関範囲[ZCZ]符号の割当て[2011. 01]
- 14/00 光学的多重化方式[5]
- 150 ・光符号多重化方式
- 14/02 ・波長分割多重化方式[5]
- 101 ・・アッド アンド ドロップ多重処理
- 121 ・・パワー制御, 例. 総光パワーの一定維持
- 198 ・・サブキャリア多重化処理[SCM]を有するもの
- 14/04 ・モード多重化方式[5]
- 14/06 ・偏波多重化方式[5]
- 14/08 ・時分割多重化方式[5]
- 130 ・・アッド アンド ドロップ多重処理
- 99/00 このサブクラスの他のグループには分類されない主題事項[2009. 01]
- 100 ・非直交多重化方式